

平成 29 年度第 2 回学校協議会実施報告

実施日時：平成 29 年 11 月 28 日（火）午後 5 時～6 時 45 分

実施場所：本校会議室

学校協議会委員出席者（五十音順）

長田委員、塩見委員、人見委員、松井委員、安田委員

事務局出席者

金一（校長）、尚山（教頭）、田澤（事務長）、藤井（首席）、川村（首席）
各分掌長・学年主任 7 名、各専門コース代表 3 名

I. 次第

(1) 校長挨拶

(2) 協議事項

- ・学校経営計画について
- ・各分掌、委員会等の進捗状況について
- ・再編整備計画について
- ・その他

(3) 質疑・応答

内容

< 挨拶 >

校長より

- ・年 2,3 回の協議会の機会に学校の中身を知ってほしい。
- ・今回は詳細な資料を用意できた。
- ・忌憚のない意見を出してほしい。

<協議事項>

(委員) 再編整備計画の中で、カリキュラムについての取組体制の無さという意味がよくわからないが。

(事務局) 毎年の教育課程の申請の中で、今回、自由選択科目・エリア科目が減る部分に新科目を入れる必要がある。40名で1講座を形成できる、共通科目があれば効率が良いが、各教科からは出してもらえない。20名で1講座の選択科目では割が悪い。

(委員) なぜ、教科から出ないのか。

(事務局) 本校には他校に見られるカリキュラム委員会が無い。再編整備委員会から意見を出して教科に伺っていくのには限界が来ている。強制しないと動かない。

(事務局) 普通科総合選択制はとにかく、選択が多い。教員も多い。その中で生徒の希望に沿った特色のある講座ができていった。ところが専門コース制では決まってくる。また、コース制以外の方が問題で、文系・理系などで科目を変えないといけませんが、教員が減る。効率的にしないといけないが、うちは10年やってきた中で、急に変わるの難しい。他校は7時間目をつくらないと入りきれないくらい多くの科目が出ている。府教委の方針も最初、特色のあるコースをめざすということであったが、生徒が集まらなるとコース以外のところが被ることになり、進学をめざすコースをつくるように微妙に変わった。進学をめざすコースや、他の系にどんな科目を入れるかが難しい。

(委員) 大学でも共通科目があり、それと専門科目に分かれている。共通科目のベースは委員会で決める。人文・社会・科学・キャリアの各分野でそれぞれの共通科目をトップダウンで決める。その後で選択科目を出す。教員の専門性にもより、教えられる先生が必要。ボトムアップで決めるにはむずかしい。自分で何を教えられるのかにもよる。

(事務局) 人材の中でやっていく。社会の専門性や、特に理科の専門性が偏っている。

(委員) 自分の中で、専門性がある。決められても教えられない。どうしていいか…。

(委員) 制度が変わる中で、大変なご苦労がある。そもそも、変える目的は何? 40人のところ、20人しか集まらないということは、生徒には不評ということか?

(事務局) 改編は大阪府が決めた。本校で決めたわけでは無い。普総選は大阪オリジナル。

総合学科とも違う。コース制は食堂で定食を選ぶイメージ。総合学科は単品の組み合わせ、普通科はメニューに幅が無い。普総選が定着する中で、生徒の自己主張できる力がついてきている。ところが普総選を続けられないことになって、本校ではエリアの特徴を少しでも生かせないかということで、3つのコースとなった。進学をめざすコースとは別に、今までの中高連携を生かす形で社会文化コミュニケーションコースをつくれぬか、さらに、生徒を集める方策をどうするか。また、美術工芸表現コースについては南の港南造形に対して、北の北摂つばさという、少しでも特色のあるコースにということになった。コース制以外も何とかしないといけない。

(委員) コース制を選んだ以上、短期間で編成しなければならない。大変だがさらに話し合い、府に申請していかないと。子どもに影響が出ないか心配する。

(委員) 地域と北摂つばさの結びつきは多い。ふるさとまつり、玉島祭りでは今年も遅くまでお付き合いいただいた。接点を求めていただいた。いろいろな経験ができ、いろいろなブースで好評であった。ありがとうございます。防災においても府立ながら指定避難所になっていただき、非常にありがたい。1月21日の防災訓練を何とか成功させたい。つばさネットワークについても、微力ながら大阪に来る生徒のお世話をさせていただいた。その中でいろいろ学ばせていただいた。防災に生かしていきたい。この10年で、つばさは素晴らしい学校になったと、地域も評価している。見守らしていただいて、今後も一緒になって努力をしていきたい。

(委員) 決められない時どうしたらいいのか? 決定力のあるグループは作れないのか?

(事務局) 会議をするグループはある。叩き台を出してはいるが…

(事務局) 最終的には校長が決める。ただ、教科のことはうまくいかないこともある。このことについては、来年のスタートに向け、次の学年も含め協力して作っていく。

(委員) ボトムアップでいかに話し合っていくか、時間がかかる。調整役は大変だが期待させていただいている。いい報告をお聞かせ願いたい。

(委員) 3コースについて、進学は後からついてくるもの。進学をめざすとカリキュラムが大変。進学以外の2つの専門コースについても進学はできる。大変だと思うが、次回、カリキュラムを見せていただけたらと思う。外部へのアピールについては、オープンスクールが入学志願者につながるように。